

国際プラスチック条約シンポジウム 交渉の現在地と展望

9/28 木 14:00-16:00

トラストシティ カンファレンス・神谷町

11月・ナイロビ開催の第3回交渉に向けて

世界では、プラスチック汚染が深刻な問題となっており、環境への負荷や健康への悪影響のみならず、気候変動を悪化させることが問題視されています。

世界全体でこれまでに生産されたプラスチックのうちリサイクルされたのはたったの9%であるにも関わらず、2050年までにプラスチックの製造量は3倍になるという推定もあります。

国境を超えるこの地球規模課題に世界的に取り組むため、国連環境総会では、プラスチック汚染を根絶する国際枠組みの策定を目指す決議が採択され、2025年の国際プラスチック条約採択に向けて動き出しています。

この条約を野心的なものにし、国内の機運を高めるために、各界から情報提供や具体例・提案などをいただき、相互理解を深めます。

登壇者



小野 洋氏

環境省参与
INCアジア太平洋地域代表



ジョティー・マサー・
フィリップ氏

INC事務局長



近藤奈香氏

エコノミスト・インパクト
シニア・エディター



中村健太郎氏

CLOMA事務局主幹



エリック・
カワバタ氏

テラサイクルジャパン／
Loop Japan 代表



堀哲氏

東京都環境局
資源循環推進部 計画課長

プログラム

- 14:00-14:15 開会挨拶・来賓挨拶
- 14:15-14:35 国際プラスチック条約交渉のこれまでとこれから
- 14:35-14:45 上流から下流まで、ライフサイクルでプラスチック汚染を減らすために
- 14:45-15:40 ステークホルダーからの声・提案・具体例
- 15:40-15:55 会場からの質疑
- 15:55-16:00 閉会挨拶

参加方法

こちらからご登録ください



お問い合わせ先: E-mail: pub.jp@greenpeace.org

<http://act.gp/47z661f>

主催:



GREENPEACE